

# 人々の優しさにふれた10日間

## ベトナム・ハノイで学生部セミナー

**体験記**

学生部セミナー「ベトナムへ行こう」が3月2日から11日まで開催され、嶋根克己学生部長と学生ら17人が参加した。ハノイ市、バッチャン村、ハロン湾などを見学したほか、国際交流

協定校のベトナム国立大学ハノイ校での語学研修や、ホームステイも体験して現地の人々と交流、学生たちは、密度の濃い10日間を過ごした。参加2学生の体験記を紹介しよう。



内側からふれてほしい

●嶋根克己学生部長の話

4年ぶりに開催の学生部セミナーは、盛りだくさんの内容で多くの発見があり、貴重なふれあいを体験したことと思います。特にベトナム国立大学ハノイ校でのベトナム語研修では、外国語でコミュニケーションしようとする能力が養われたのではないのでしょうか。

今後も、留学や研修のチャンスがあれば挑戦し、異文化を積極的に学んでほしい。観光目的でなく、内側から外国を見るチャンスを作ってもらいたいと思います。

◀ベトナム国立大学ハノイ校の前で同大の学生たちと一緒に参加者



▲語学研修の修了式で剣道着姿の高橋さん(右)

高橋 幸子 (法科大学院1)

異なる語学や歴史を学ぶことによって自らの固定観念を壊す体験をすること、現地の学生と積極的に交流し、友人をつくることを目的に学生部セミナーに参加したのだが、予想以上にさまざまな体験をし、自分の考え

異なる語学や歴史を学ぶことによって自らの固定観念を壊す体験をすること、現地の学生と積極的に交流し、友人をつくることを目的に学生部セミナーに参加したのだが、予想以上にさまざまな体験をし、自分の考え

日向 悟郎 (経済4)

ベトナム語研修、陶器工見学、世界遺産のハロン



▲バイクが行き交うハノイ市内

単なゲームをしたり、「指さし会話帳」を用いて会話をしたりして、すぐに打ち解けることができた。学生たちは学び始めて3週間ということだったが、日本語の歌を歌い、積極的に話しかけてくれるベトナムの人の姿を見て、自分にも同じようにベトナム語ができるはずだ、いや、やらなくてはならない!と励まされ、その後の語学研修や、ホームステイに生かすことができた。



▲ベトナムの学生と一緒に

10日間の研修を終えた修了式で、私たちは語学学習の成果などを発表、ハノイ校側は、「ドイモイ政策」や「WTO加盟」について日本語でパワーポイントを使用しながらプレゼンテーションしてくれ、事前にも本で学習したのよりも、わかりや

10日間の研修を終えた修了式で、私たちは語学学習の成果などを発表、ハノイ校側は、「ドイモイ政策」や「WTO加盟」について日本語でパワーポイントを使用しながらプレゼンテーションしてくれ、事前にも本で学習したのよりも、わかりや

得意の剣道で技を披露 「言葉」を超えた交流

すくとも勉強に意図を求められたのに肩すかしをするような返答しかできなかったこと、専門分野にとらわれず、社会全般についての見聞を広

すくとも勉強に意図を求められたのに肩すかしをするような返答しかできなかったこと、専門分野にとらわれず、社会全般についての見聞を広

「会話」が弾んだ! 値引き交渉にも挑戦

と古い町並みへ間でもベトナムは、本当にと一緒に、床に新聞紙を敷いてその上に器を置く感じがしました。村では、たくさんの陶器のお店を見まわり、授業で習ったベトナム語でベトナム料理をいいたきながら、発音を教えてくださいました。

私が片言のベトナム語と英語で必死に話していたら向こうも理解しようをしようと、ベトナム語と顔のと真剣に聞いてくれ、不



▲ホームステイ先の子供と一緒にの日向さん(右)

と古い町並みへ間でもベトナムは、本当にと一緒に、床に新聞紙を敷いてその上に器を置く感じがしました。村では、たくさんの陶器のお店を見まわり、授業で習ったベトナム語でベトナム料理をいいたきながら、発音を教えてくださいました。

私が片言のベトナム語と英語で必死に話していたら向こうも理解しようをしようと、ベトナム語と顔のと真剣に聞いてくれ、不